

活力あふれる地域社会の実現

年頭のごあいさつ 白根市長 滝沢昌三



新年明けましておめでとうございませう。輝かしい新春を迎えるに当たり、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。昨年中は市政推進にひとかたならぬご支援ご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

市制30周年、21世紀へのステップに

さて、一昨年年市制三十周年を迎えた本市が二カ年にわたる多くの記念事業を、昨年完成したカルチャーセンターを中心に、盛大かつ有意義に開催できたことは、二十一世紀へ飛躍する大きなステップになったものと確信いたしました。

主な催し物だけでも、光や音の先端技術を駆使した「市制三十周年記念式典」や、二千五百人が詰めかけた「記念講演会」、テレビの人気番組「笑点」の公開放送などが多彩に繰り広げられた「しろね30市民のつどい」、市民の努力で開催されて盛況を博した「小林幸子ショー」、国内一流バレーボールチームを招いての「スポーツフェスティバル」、「NHKのご自慢」の公

開生放送、それに「産業まつり」や「健康福祉まつり」も大勢の市民が訪れ、大変好評でした。カルチャーセンターでは、今後も引き続きスポーツを通じた健康づくりと、文化やコミュニケーション活動の拠点として、市内外の多数の方々から参加いただけるようなさまざまな催し物を企画しておりますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

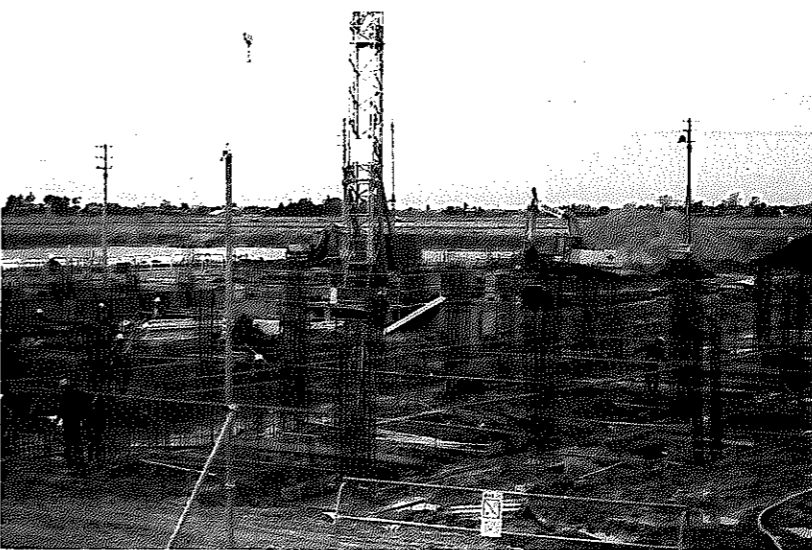
個性豊かな活力あふれるまちづくり

さて、本年も依然として国内外を問わず非常に不安定な状況であり、本市も厳しい行財政運営を強いられることが想定されることとありますが、市民の皆様への期待にこたえるよう総合計画をベースに重点施策を進め、個性豊かな活力あふれる地域社会の実現と市勢の伸展に努めて参る所存であります。

幸い平成二年十月一日に行われた国勢調査で、本市の人口が三万五千八百人と五年前の調査より一千五百人余り増え、高い伸び率を示していることは、本市の発展にとって大変喜ばしいこととありますが、これに伴う

条件整備を急がねばなりません。生活関連施設と教育の充実を懸念の市立白根北中学校は平成四年四月開校を目指し建設工事を進めているほか、デイサービスセンター（皐月園）も今

春の完成を目指して工事が急ピッチで進み、在宅の寝たきり老人や虚弱老人の心身機能の維持向上や家族の負担軽減を図るなど、その機能が十分発揮されるよう努力いたします。また、これまで重点的に進めてきました道路整備については、昨年市道鯉濁古川線の開通およ



建設進む白根北中学校

び、白根バイパスの一部、市道一之町下江線を暫定開通いたしました。今後も引き続き主要道路の整備をはじめ、各種交通安全施設の充実に努めて参ります。

活性化対策に全力を

昨年商業活動調整協議会の答申がなされ、今後具体的に動き

はじめることが想定される大型店と、既存商店街とが共存共栄できるよう商工会と連携して努力をいたします。また、農業も依然として困難な情勢にあることから、これまで以上に産業施策には全力を注いで参る所存であります。

ふるさと創生事業については、昨年度は各種ソフト事業を企画実施しました。なかでも「(仮称)白根ふるさと館」の建設開

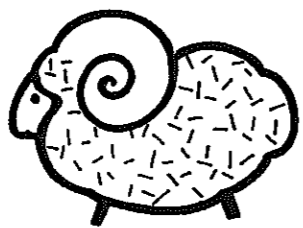
連では、館内に常設を予定している立体映像設備の上映ビデオ二本を制作しました。本年はこの「(仮称)白根ふるさと館」の建設準備を進めて参ります。

地域づくりは市民一体で

いつの時代でも、地域づくりには難問が山積しておりますが、行政、各種団体、それに市民が

一体となつて、英知を結集すれば必ず展望が開けてくるものと確信し、本年も全力を挙げて市勢発展と市民福祉向上のために諸施策を着実に進める所存であります。

年頭に当たり、市民の皆様への市政に対する一層のご理解ご協力を心からお願ひ申し上げ、併せて皆様のご健康とご繁栄をお祈りしまして、新年のごあいさついたします。



平成3年 私の抱負



柳 早苗さん
(水道町2・18歳)

今年はいは社会人になります

将来は漫画家になるのが夢です。好きなのはこなみ詔子の絵や少年漫画。新聞や雑誌などにも投稿します。今の中学生ぐらいの人はイラストをかく仲間がたくさんいていいですね。イベントなどに行くと、小中学生がいっぱいいて、私なんか古い方です。一月六日に産業振興センターで第十四回新潟コミックマーケットがありませんが、もちろん参加します。新刊「厚顔無恥」というのを出します。

今年はいは社会人になるので、気持ちを引き締めて頑張ります。



関根 勝彦さん
(下茨・30歳)

家族そろって健康が一番の願い

昨年はいい年ではありませんでした。女房が九月に交通事故に遭って、まだ入院しています。早くよくなつて、家族がそろつて仲よく暮らしていきたいですね。二歳と一歳の子供がいます。子供たちも母親の帰りを心待ちにしています。それが一番の願いです。

自分もそろそろ一家の大黒柱としてやっていかなければならない年齢なので、部落の人たちとのコミュニケーションを大切に、地域の中でも活動しなければと思つています。



広瀬 時男さん
(大通南2・42歳)

働きやすい職場づくりを

新潟に来て五年目です。昭和六十一年にできた黒崎きのこセンターで、バイオテクノロジーのシメジ栽培をしています。生き物が相手ですから、サラリーマン感覚ではできない仕事です。温度管理など、気が抜けません。毎日様子を見に行きますよ。

パートを三十人ほど使っているのですが、いかに働きやすい職場環境を作るかが私の役目だと思います。手作業が多く、きつい仕事ですから、人の和を大切に、楽しく仕事ができるような職場にしたいと思つています。



保田美恵子さん
(中大郷・52歳)

一期一会を大切に

民生委員など福祉のお手伝いをさせていただいてますと、まだまだ未熟さを感じることが多くございます。一日一日、一生懸命お手伝いさせていただきます。毎日が人間対人間の仕事です。そんな中で、何もかも忘れて打ち込める一時、それがお茶の時間なんです。最近「食」に関する勉強会のお仲間に入れていただきまして、もっと時間が欲しいです。一期一会。出会いを大事にして、毎日を精いっぱい過ごしていきたいです。

民生委員など福祉のお手伝いをさせていただいてますと、まだまだ未熟さを感じることが多くございます。一日一日、一生懸命お手伝いさせていただきます。毎日が人間対人間の仕事です。そんな中で、何もかも忘れて打ち込める一時、それがお茶の時間なんです。最近「食」に関する勉強会のお仲間に入れていただきまして、もっと時間が欲しいです。一期一会。出会いを大事にして、毎日を精いっぱい過ごしていきたいです。